

レジャー白書 独自定量調査のご案内

～戦略の方向性を探るための実態・意向の調査～

公益財団法人日本生産性本部 余暇創研

レジャー白書 独自定量調査とは・・・長期にわたる「レジャー白書調査」の結果や貴社保有のデータなどから抽出した仮説を検証したり、ある条件に該当する消費者の意向を調べたりすることにより、貴社のマーケティング戦略やそれに伴う施策の方向性を探るための調査です。

独自定量調査 ニーズ別のご提案

※下記の「●●」には、調査対象種目が入ります。

①大きなトレンドを把握・予測したい ⇒ 近年顕著に増減している種目を中心に調査

【調査内容】参加者の継続意向、非参加者の将来の開始・再開の可能性、周囲への推奨意向 など
調査項目の例)家族の増減に伴う休止・再開の可能性、仕事・職場の変更時の休止・継続の実績・意向、参加を勧める候補
【調査対象】参加人口が一定以上、かつ近年の増減が比較的大きい種目の経験者
調査対象種目の例)ドライブ、カラオケ、ゲーム、パチンコ、外食、飲み屋、音楽鑑賞、ボウリング

②世代や地域の傾向を確かめたい ⇒ 特定の属性の回答者に絞り込んで調査

【調査内容】A: 人生の転機となる年代における余暇活動の特性、B: 地理的な特性による余暇活動の違い
調査項目の例)A: 近年重視している余暇活動、始めた種目・止めた種目、B: 定期的な出かけ先、アウトドア派 or インドア派
【調査対象】特に関心のある年代・世代(A)、地域・地方(B) に該当する人
調査対象の属性の例)A: 10代後半から20代の若年者、60～65歳(定年退職の時期)、B: 山陽地方と山陰地方、平野と山地

③参加や再開を阻む要因を調べたい ⇒ 特に関心のある種目を取り上げて調査

【調査内容】参加や再開に至らない理由・要因、その理由・要因を取り除く手段
調査項目の例)●●に対する興味の有無、●●を楽しむように感じるか否か、再開しない要因(金・時間・人間関係等)の比重
【調査対象】関心のある種目の過去の経験者や未経験者
調査対象種目の例)海外旅行、クルージング、バーベキュー、オートキャンプ、登山(潜在需要が比較的大きいもの)

④参加者のタイプを詳しく知りたい ⇒ 特定の種目に関するより細かい情報を調査

【調査内容】●●の詳細区分、参加する主な場所・媒体、参加の際に利用している商品・サービス
調査項目の例)参加している●●のジャンル・カテゴリー、●●への参加を媒介する組織・ツール、最近利用している商品
【調査対象】参加人口が一定以上の種目の最近1年間の参加者
調査対象種目の例)トレーニング、スポーツ観戦、音楽鑑賞、外食、ショッピングセンター(参加人口が比較的多いもの)

レジャー白書独自定量調査の進め方

※下記の「進め方」は、インターネット調査を前提としたものです。郵送調査などをご希望の場合は下記の担当までお問合せ下さい。

事前打ち合わせ
(2回前後)

調査実施
(約3週間)

納品物の送付
(調査完了から1か
月後を目途)

■事前打ち合わせ
■費用の見積もり
例1) 15設問、回収2,000件で200万円～
例2) 10設問、回収1,000件で100万円～
■調査項目の作成

■調査(WEB)画面作成
■回答者の抽出、回答の依頼・収集
■データファイルの作成
■データの(クロス)集計
■データ分析
例) 相関分析、テキスト分析など

■簡易報告書の作成
例1) A4判20項(図表含む)
例2) A4判5項(図表は別途10～20項)
■調査データ・集計表(Excel)、簡易報告書(PDF)等納品物の送付

調査の詳細やお見積りなどについては下記の担当までお問い合わせ下さい

余暇創研(公益財団法人日本生産性本部内) 担当: 志村、高橋
〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1 生産性ビル6階

TEL: 03-3409-1125 FAX: 03-3409-1187 E-mail: yoka@jpc-net.jp HP: <http://www.jpc-net.jp/leisure>